

---

せいぜい

数十時間！

---

## 核燃料サイクル計画行政はエネルギー計画の「社保庁」

---

50年間 策のように  
国民の税金と消費者の電気代を  
何兆円も使って  
梨のつぶて！

この電気エネルギー開発 50年の成果



現在、電球一つも灯せていません

# 住民、プルサーマル拒否



	得票数	得票率
反対	1925	53.40%
賛成	1533	42.52%
保留	131	3.63%
無効	16	(選管最終発表)

新潟県刈羽村で27日、東京電力柏崎刈羽原発のプルサーマル計画受け入れの是非を問う住民投票が行われた。即日開票の結果、「反対」が投票総数の半数を超え、住民はプルサーマル計画実施を拒否した。プルサーマル計画は使用済み核燃料からプルトニウムを取り出し再利用するもので、国が進める核燃料サイクルの中心。地元住民が突き

新潟・刈羽村

## 投票の過半数「反対」

### 国の計画に影響必至

つけた「ノー」の判断が計画の進展に大きな影響を与えるのは確実だ。(3、30面に関連記事)

「反対」が投票総数の半数を超え、住民はプルサーマル計画実施を拒否した。プルサーマル計画は使用済み核燃料からプルトニウムを取り出し再利用するもので、国が進める核燃料サイクルの中心。地元住民が突き

つけた「ノー」の判断が計画の進展に大きな影響を与えるのは確実だ。(3、30面に関連記事)

つけた「ノー」の判断が計画の進展に大きな影響を与えるのは確実だ。(3、30面に関連記事)

#### 刈羽村 住民投票

3.7世帯に一人が原発関係者という「原発城下町」、世界最大の発電量を誇る柏崎刈羽原発でのプルサーマル計画導入の是非を問う住民投票において、新潟県刈羽村の住民は「プルサーマルNO」を突きつけました。

(結果は、反対が1925票、賛成が1533票、保留131票でした)

2001年5月28日 毎日新聞記事

村長「正念場だ」  
住民投票は法律に定めがなく、投票結果に法的拘束力はない。品田村長は結果を受けて「非難に耐えられない」と述べ、私は今正念場だと思ふ。28日に倉見する」と述べた。村の住民投票条例では、議案が村長は、結果を尊重しなければならぬ」と定めており、村長は「国の意向」と「住民の意向」の間で、厳しい選択

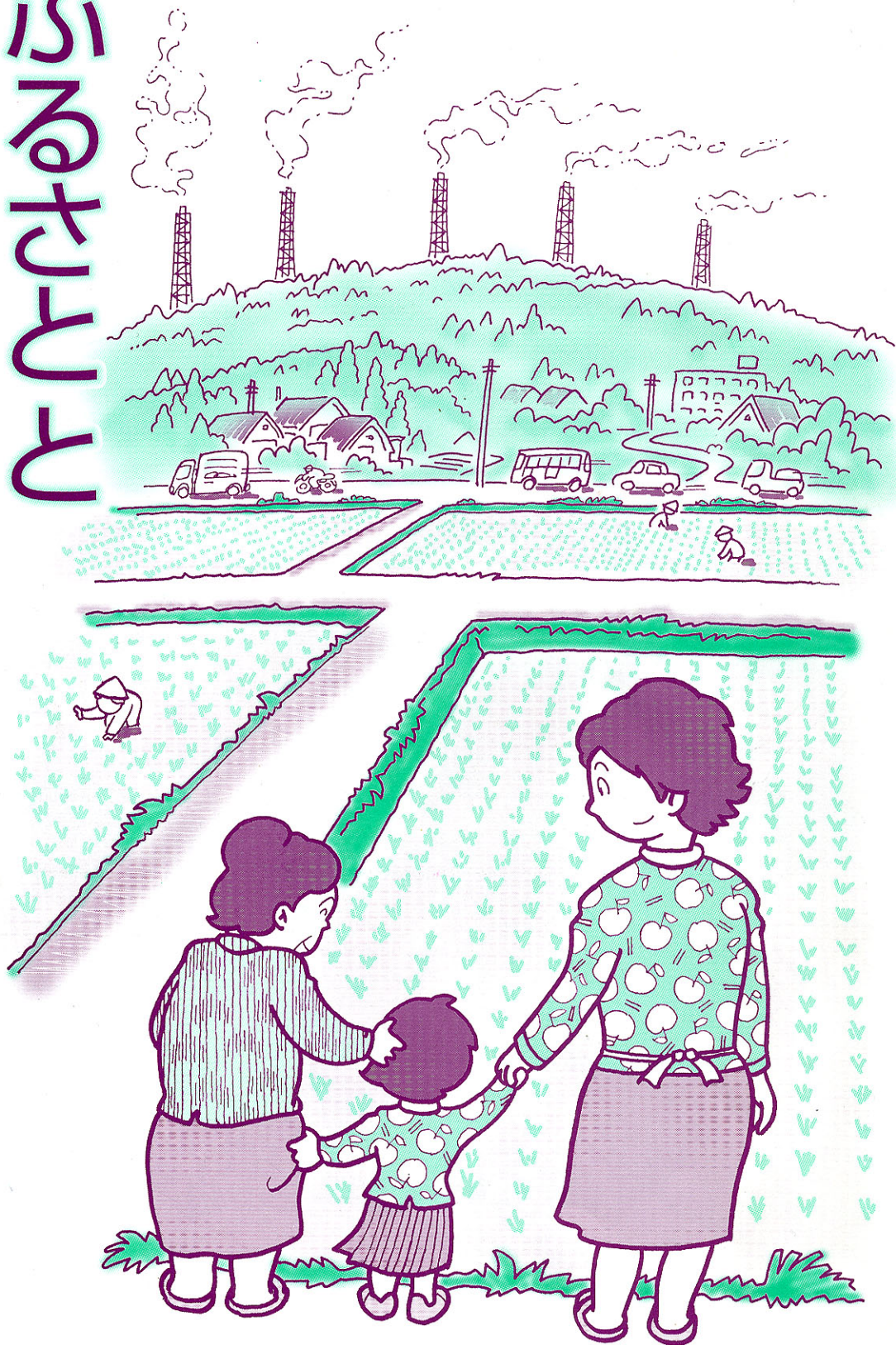
を迫られるとみられる。国は「投票結果だけに左右されない」(河野博文・資源エネルギー庁長官)との姿勢だが、住民の意向がはっきりしたことで、これまで通りの姿勢を貫けるかも焦点になる。東電は「最終的には首長の判断がよりどころ」(南直哉社長)と、品田村長や平山征夫新潟

県知事らと協議する意向を明らかにしている。東電は00年にプルサーマル計画の実施を予定し、平山新潟知事「対応考える」  
投票結果を受けて、平山新潟県知事は「プルサーマルに関する初めての住民投票だ。いったん同意を出しているの

結果をどう受け止め、どう判断するかは、(刈羽)村長を含めていろいろな考えを聞き、対応を考える必要がある」と話した。

※ このパンフレットは、2001年の柏崎刈羽原発プルサーマルの是非を問う住民投票のときに刈羽村で配られたものです。

# ふるさとと子どもたちを守るために



# 地元怒る電関 悔やむ

## プルサーマル、大丈夫のはずが



高浜原発4号機のMOX燃料使用中止を受けて会見する、使用差し止め仮処分を申し立てた小山英之さん（左から2人目）ら=16日午後、大阪市北区の大阪弁護士会館で

### 「計画全体、見直しを」 専門家

国内初のプルサーマル計画が完全に暗礁に乗り上げた。十六日、関西電力高浜原発4号機（福井県高浜町）のMOX燃料の検査データに、新たなねつ造が発覚し、これまで「大丈夫」と繰り返していた関電が計画の延期を表明した。地元からは「信頼は完全に崩れた」という怒りの声があり、専門家や市民団体の間にはプルサーマル計画そのものを見直すべきだ、という主張が強まっている。

●甘かった調査  
大阪市北区の関西電力本社では、十六日午後五時から記者会見が開かれた。同社の岸田哲二常務はこの日新たに発覚した英核燃料会社（BNFL）の不正に、「普通の商取引では考えられない」と唇をかんだ。「それでもBNFLと取引を続けるのか」との問いには、「長い契約の歴史もある」「我々の調査が甘かったと言われてもやむを得ない」と話した。

また関電の山崎吉秀専務は午後五時、福井県庁を訪れ、高浜4号機用のMOX燃料の使用中止を決断したと説明。県民生活部長に「不手際を起さず、本心に申し訳なく思います。今後調査して全ほろを明らかにし、信頼回復に全力を尽くしたい」と頭を下げた。

高浜原発の地元、福井県高浜町の今井理一町長はこの日夕、関電から報告を受けた。町長は「BNFL

仮処分申請 取り下げへ  
住民二百十二人が高浜原発4号機用MOX燃料の使用差し止めを求めた仮処分申請は、住民側が十六日、検査データねつ造疑惑を指摘した英国の原子力施設検査局（NTEI）の書簡を大阪地裁に提出したため、十七日にも予定されていた決定が延期された。住民側は、燃料の使用中止を発表した関西電力が裁判所にもその内容を伝えれば、目的が達成されたことを理由に申請を取り下げる方針。

●全面勝利  
関電が高浜4号機のMOX燃料使用断念を発表したのを受け、大阪地裁はこの燃料の使用差し止めを求めた仮処分を申請していた北陸や関西の住民ら二百十二人を代表して、代理人の冠木克彦弁護士ら六人が大阪市北区の大阪弁護士会館で記者会見した。

裁判所の判断を待たずに目的を達したこともあり、

時折突みを浮かべながらも「データの流用は水山の一角。MOX燃料は使うべきでない」と話した。

会見場には、十七日に出る予定だった大阪地裁の決定に合わせ、用意していた「全面勝利」「関電疑惑確定」などと大書した黄色い紙が張り出された。

高浜4号機用燃料で検査データにねつ造の疑いがあることを最初に指摘したのは、仮処分の申請者の一人になった小山英之、大阪府立大講師ら。

小山講師らは十月、関電が公開した抜き取り検査と全数検査のデータを独自に分析し、寸法のばらつきの特徴から人為的に手を加えた可能性に気づいた。

●斜陽産業  
元大阪大講師の久米三四郎さん（核化学）は「問題の燃料は完全民営化を控えたBNFLが、新たな顧客である日本からの注文に飛びつき焦って造った。原子力の根拠である安全性が経済的な理由で揺らいだといえる」と指摘する。

前・原子力資料情報室代表の高木仁三郎さんも「最近、原子力産業は世界的におかしい」とあきれ、「今回のようなねつ造や、東海村の臨界事故であった手抜き作業は、いいものをつくる使命感がない斜陽産業に起きやすい。もうプルサーマルを進める必然性はない。計画見直しのチャンスだ」と話した。

朝日新聞記事  
(1999年12月17日)

プルサーマルは当初は、1999年に開始される予定でした。しかし、原発への装荷直前、燃料を製造していた英国BNFL社での品質管理データ不正が発生。市民が裁判に訴え、判決の前日に関西電力はやっとデータ不正を認めました。その結果、計画は頓挫。それ以降も、MOX燃料利用は開始されていません。

---

---

## 日本のプルサーマル計画は「不正事件」から始まりました。

---

1999年、関西電力の高浜原発用プルサーマル燃料のメーカーである英国 BNFL 社で、品質管理データの不正が行われました。

国は原因を電力会社と燃料メーカーのずさんな品質保証活動などにあるとしています。しかし、国が不正を見抜けなかったこと、また、**不正があるという報告を英国政府から受けていながら、それを隠し通そうとしていたこと\*** に対し国は、**今まで一度も国民にわびていません。**

国民をあざむく国のプルサーマルの進め方を信用していいのでしょうか。

\*：1999年12月15日、それまで通産省が隠していた BNFL 社製 MOX 燃料に不正があるという英国政府からの書簡が、参議院経済産業委員会の清水澄子委員からの質問をきっかけに委員会として政府に対し資料請求を決定。その存在が発覚した。

[浜岡で使うプルサーマル燃料]

浜岡原発 4号機のプルサーマル燃料  
を造るアレバNC社は、  
フランス原子力安全規制機関  
から厳しく批判されている  
会社です。



---

---

**安全文化における「重大な欠陥」があり、  
品質管理における「人的誤りや失敗の蓄積」がある  
会社の燃料を浜岡4号機で使いますか？**



# 浜岡原発 4号機のプルサーマル燃料 を造るアレバNC社は、 フランス原子力安全規制機関 から厳しく批判されている 会社です。



浜岡原発でプルサーマル計画が進む場合、MOX 燃料は当面フランスのアレバNC社のメロックス工場で製造されることになります。アレバNC社は、品質管理体制において、フランス原子力安全規制機関から厳しく批判されている会社です。

2007年1月9日、フランス原子力安全規制機関（ASN）は、アレバNC社に対し「事業者の安全文化における重大な欠陥が明らかであり、品質管理における人的誤りや失敗の蓄積を確認した」と通達しています。\*



フランス原子力安全規制  
機関（ASN）の通達

浜岡でプルサーマルを進める場合、現時点では日本国内に工場はないので、品質管理体制に重大な欠陥があきらかにされている英仏（英国 BNG/元 BNFL 社、仏国アレバNC社）の会社を**選**択せざるを得ません。

安全文化における「重大な欠陥」があり、  
品質管理における「人的誤りや失敗の蓄積」がある  
会社の燃料を浜岡4号機で使いますか？

\*：アレバNC社のAtPu工場で2006年11月に起こった事件に対して下された判断。日本へ輸入されるMOX燃料はアレバNC社の別の工場（MELOX）で製造される予定ですが、この事件は、アレバNC社の事業者としての安全管理体制そのものが問われています。

---

---

## アレバNC社のMOX燃料データを公表してください

---

- 国へ**
- ▶ 国は少なくとも、1999年のBNFL不正事件の時に出てきたMOX燃料の品質管理データ(生データ)を中部電力に出させますか？
  - ▶ アレバNC社の燃料の品質で一番重要なのは「プルトニウム・スポット」のデータです。国はこのデータを中部電力に出させますか？
- 中電へ**
- ▶ 中部電力はこれらのデータをアレバNC社から受け取り、公表しますか？

**YESかNOか、お答えください。**

## 他の自治体が行っている プルサーマルの必須チェック

浜岡と同じ原子力発電所（BWR）がある他の地域では、プルサーマルについて市長などが、厳しい質問を国と電力会社に突きつけています。例えば、島根原発（BWR）を抱える島根県・松江市では、プルサーマルの具体的準備に入る前に、市長が厳しい質問書を国と電力会社に突きつけており、回答を受けてから、プルサーマルについて判断するとしています。

他の自治体が行っているプルサーマルのための必須チェック項目\*（島根県松江市の場合）

- 1.大地震時における原子炉の緊急停止等について
- 2.使用済み MOX 燃料の処理について
3. MOX 燃料の品質管理について
4. MOX 燃料加工事業者の技術的能力について
5. プルサーマル導入に伴う電気料金への影響について
6. ヒューマンエラーの防止策について
7. プルサーマル導入に伴う核物質防護について

「また、国の安全審査を受けるに当たっては、別添の質問事項について、国の安全審査に併せて審査を受け若しくは調査を行い、国の安全審査の報告に併せて文章でご回答いただきますよう申し添えます。」（2006年10月2日、松江市長松浦正市長の書簡・質問書から引用）

市長が国と電力会社に送った質問の主な内容は、冒頭にあげた7点です。また、日本のBWR型原発の7割を占める新潟県・福島県では、プルサーマル計画の事前了解が白紙撤回されています。

**浜岡原発地域の自治体も、プルサーマルに  
ついて厳しく追及しないと、  
住民が原発の実験台にされてしまいます！**

\*：松江市長の質問書は、グリーン・アクションのサイトに静岡県掛川市主催の市民懇談会「プルサーマル計画を考える——安全性、信頼性、必要性（2007年6月19日開催）」アイリーン・スミスの資料としてアップしています。 <http://www.greenaction-japan.org>

---

---

## 核燃料サイクル3点セット

---

大失敗！ 高速増殖炉計画 ➡ 80年間の遅れ

大失敗！ 再処理計画 ➡ 2兆3千億以上かけて建てた工場の  
商品は不要（余剰プルトニウム）



プルサーマル

以上の失敗2セットを尻ぬぐいするための計画  
しかし、不正事件と地元の了解白紙撤回が相次ぐ

# プルサーマル——静岡が実験台でいいのですか？

浜岡原発と同じタイプ（BWR）の原発で  
プルサーマルが実施されているのは  
現在、世界中でたった2基だけ！  
しかも、その2基はプルサーマルをやめる予定です。

日本で初めて、世界でも現在2基しか実施されて  
いないプルサーマルを浜岡原発で始めて大丈夫？  
（BWR——沸騰水型原発での）

日本のBWR原発でプルサーマルを初めて行う  
予定だった東電では、計画が凍結されています。  
地元の新潟県・福島県が計画の事前了解を  
白紙撤回したためです（2002年）。

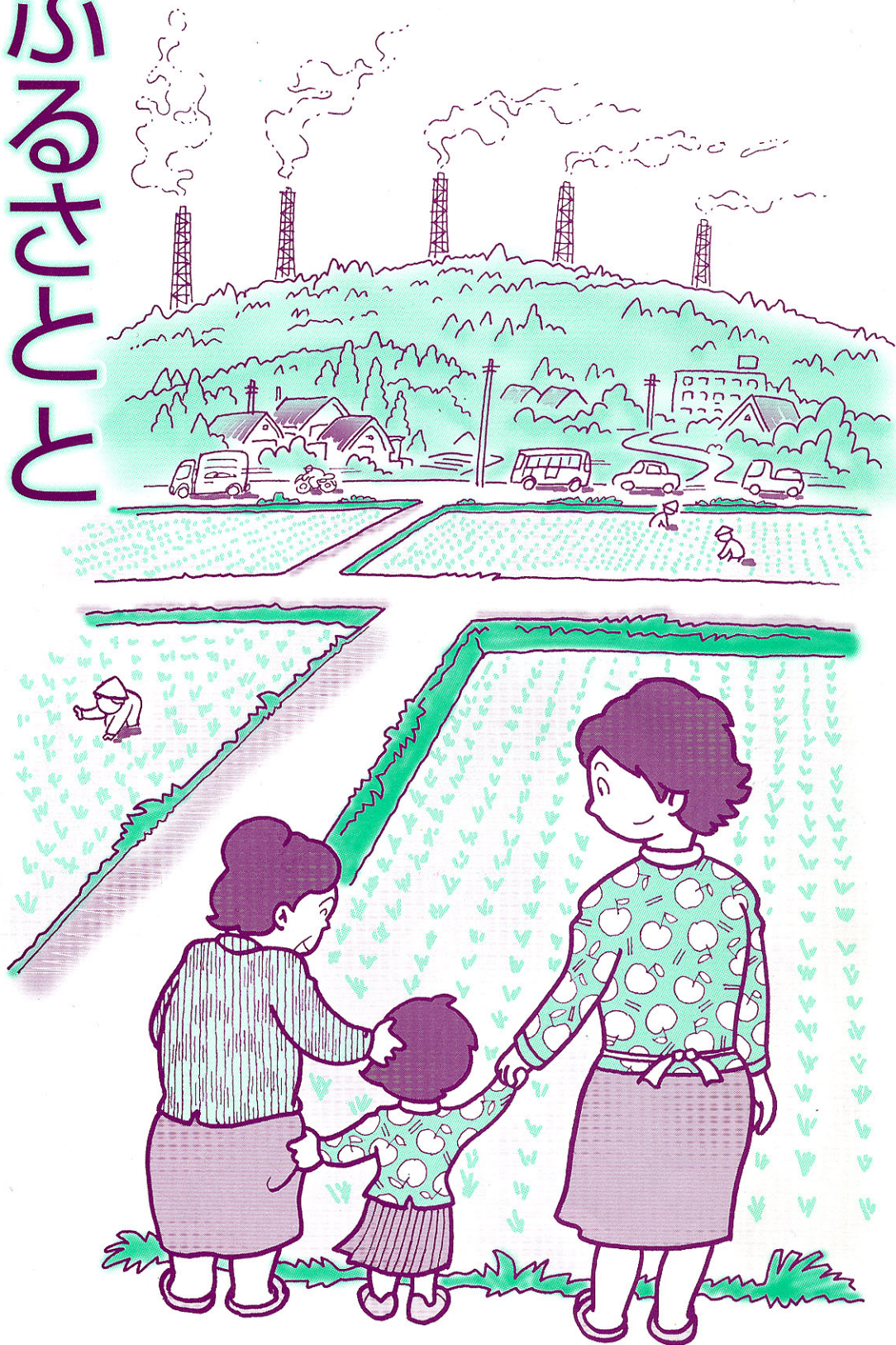


プルサーマルが行われている2基とは  
ドイツのグンドレミンゲンB・C号機です。

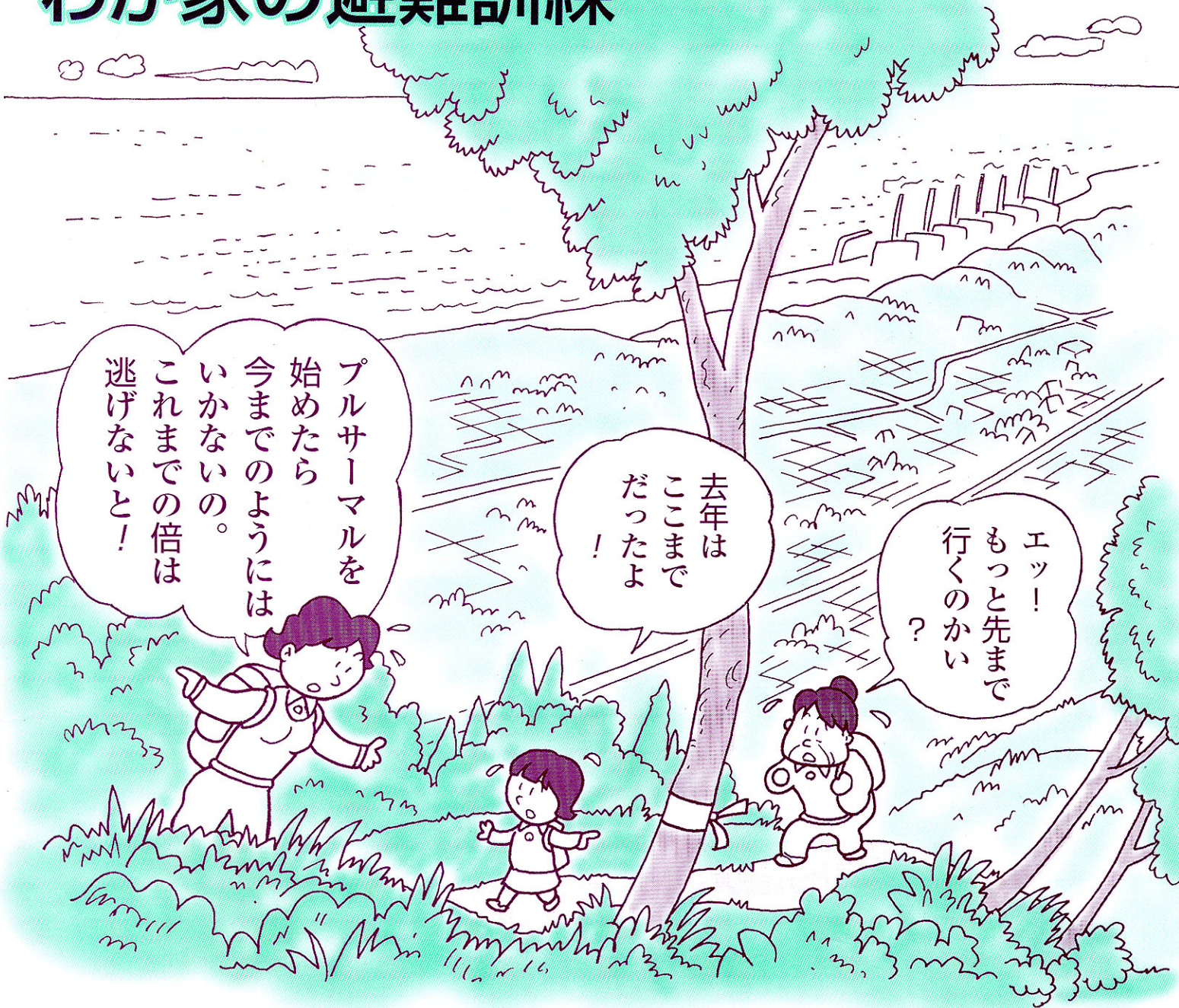
世界の地震分布図（赤点）

※ このパンフレットは、2001年の柏崎刈羽原発プルサーマルの是非を問う住民投票のときに刈羽村で配られたものです。

# ふるさとと子どもたちを守るために



# わが家の避難訓練



刈羽村  
●長岡  
●十日町  
●柏崎市

■ 50%の人が死亡  
するとされる範囲

プルトニウムのため  
被害面積は4倍に広がる!

東海村臨界事故のとき  
道路は封鎖されました……



# プルトニウムは恐ろしい!



プルトニウムはウランの数百倍、核爆発が起こりやすいので、核兵器に使われてきた

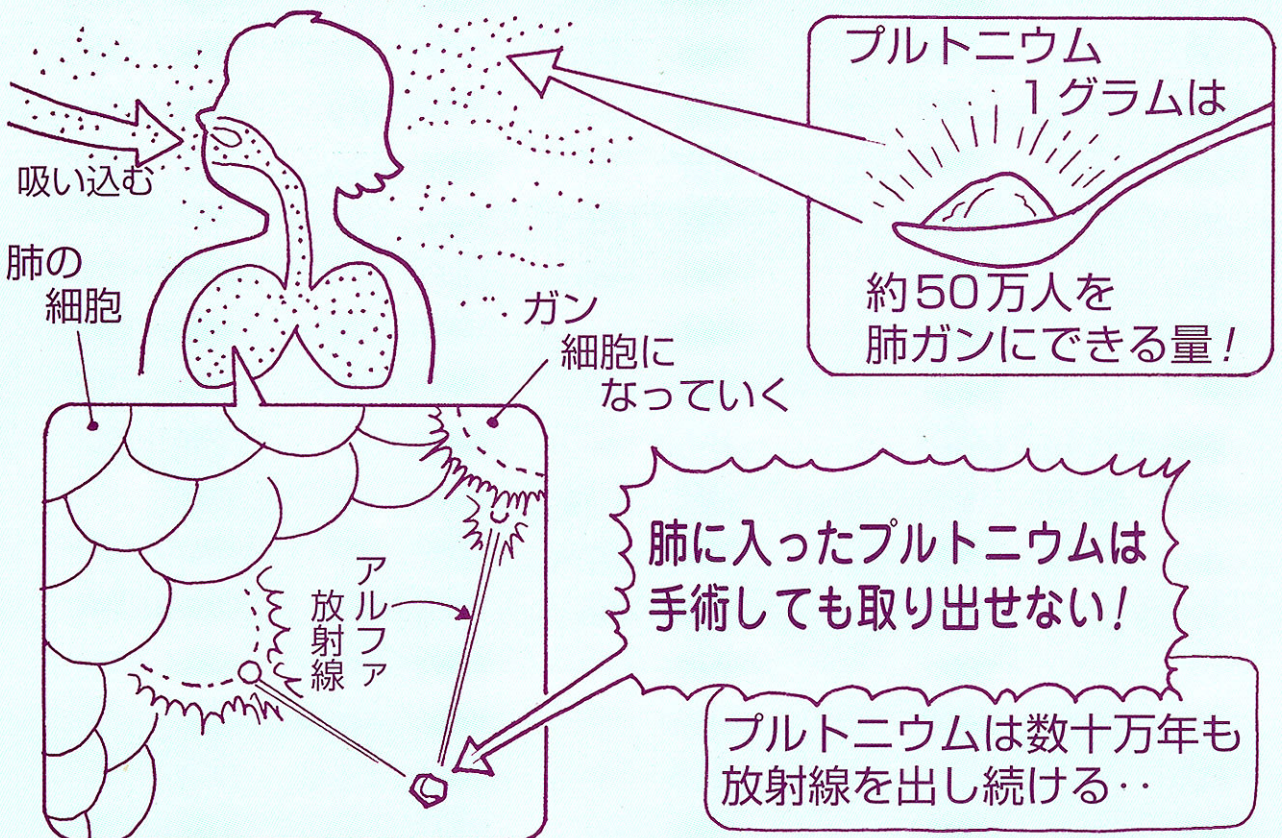
長崎原爆1発分は  
プルトニウム  
**6~8kg**使用

高速増殖炉  
「もんじゅ」では  
プルトニウム  
約**1400kg**使用

柏崎刈羽3号では  
プルトニウム  
約**2000kg**使用

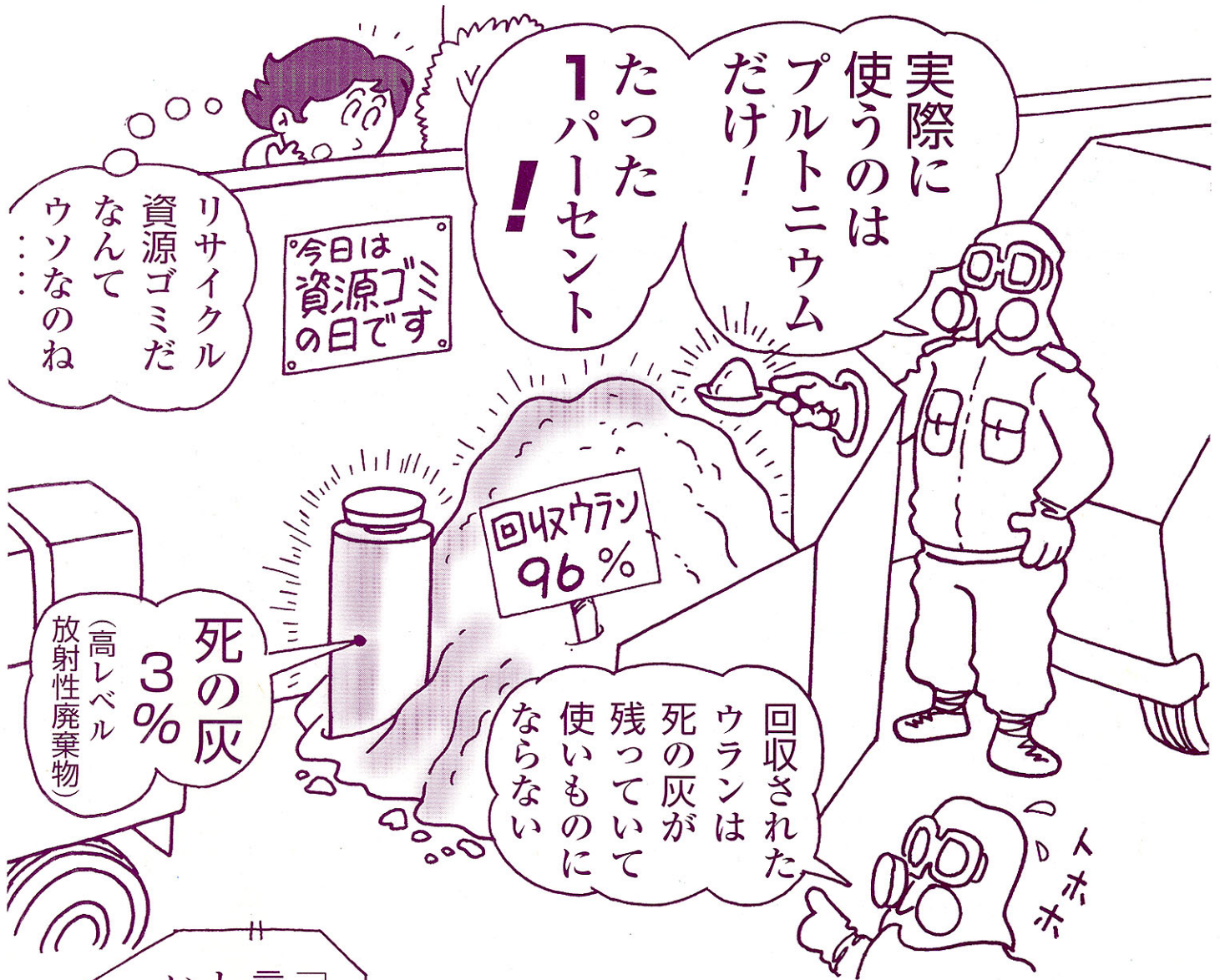
これは   
長崎原爆の  
約**300**発分

放射能は目に見えないし、息を吸わないわけには、いかないから……





# これで、リサイクルって言えるの？

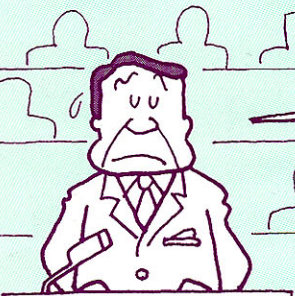


東京電力株主総会  
2000年6月28日

「リサイクル」と言っても、利用しようとしているのは1%だけ

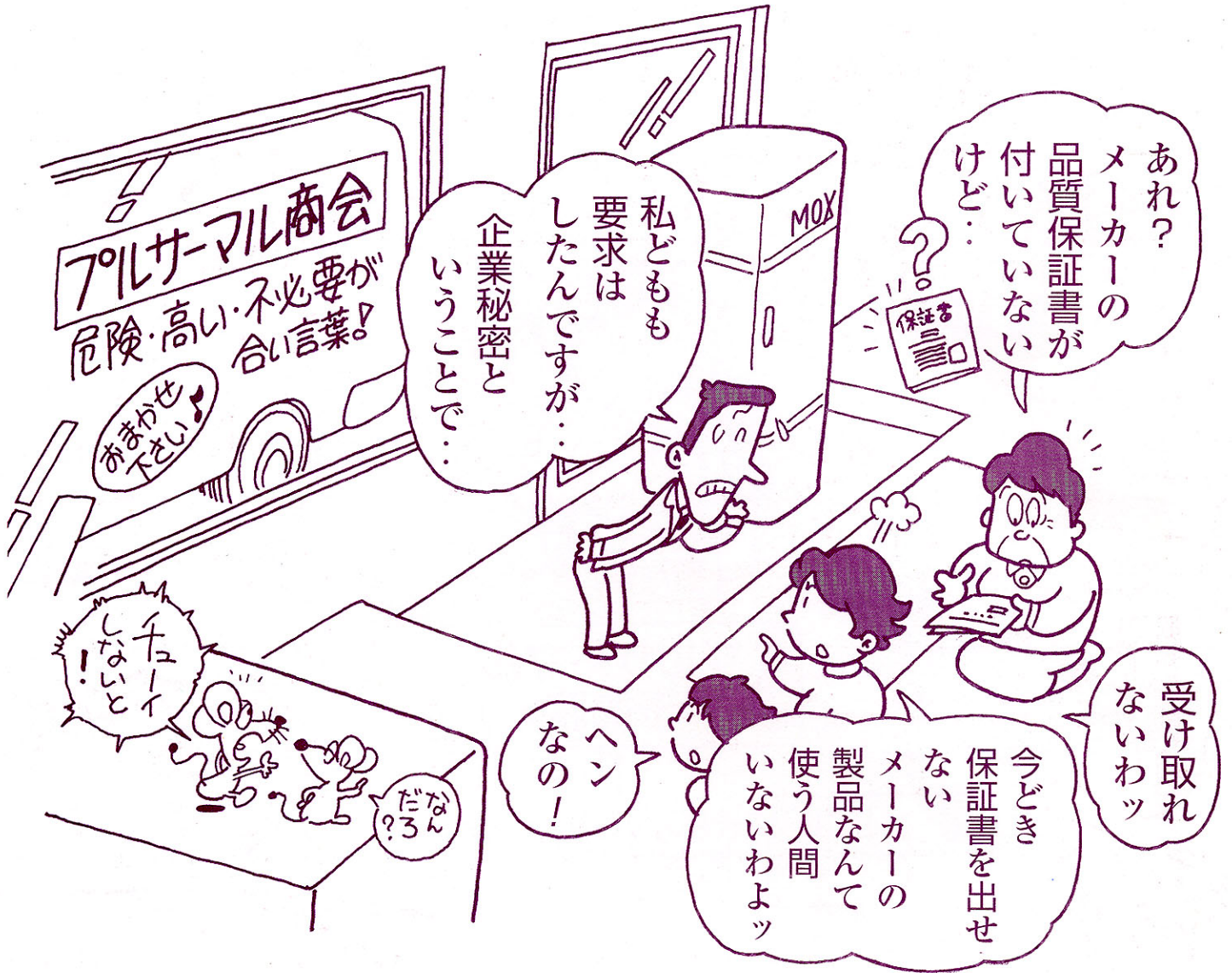
96% (回収ウラン) はそのまま廃棄物とされることが判明しました

回収ウランは「資産価値ゼロ」としています

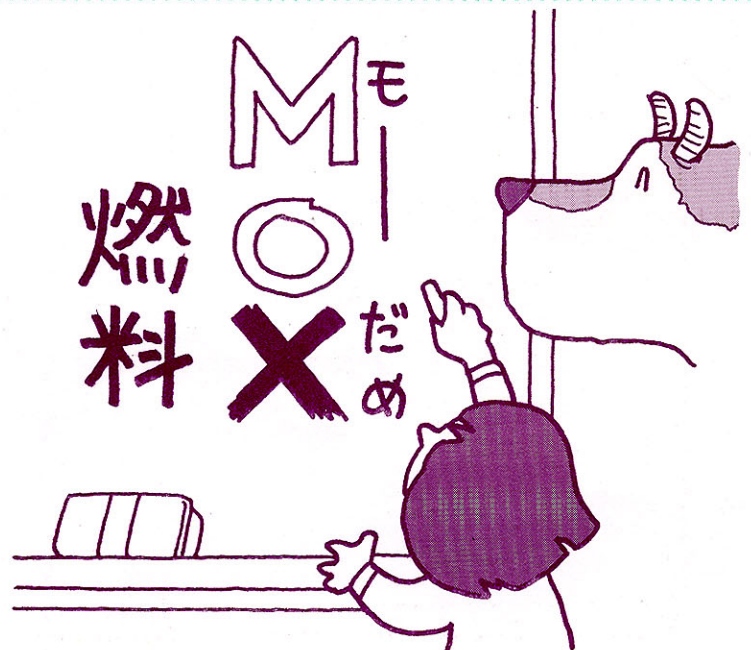
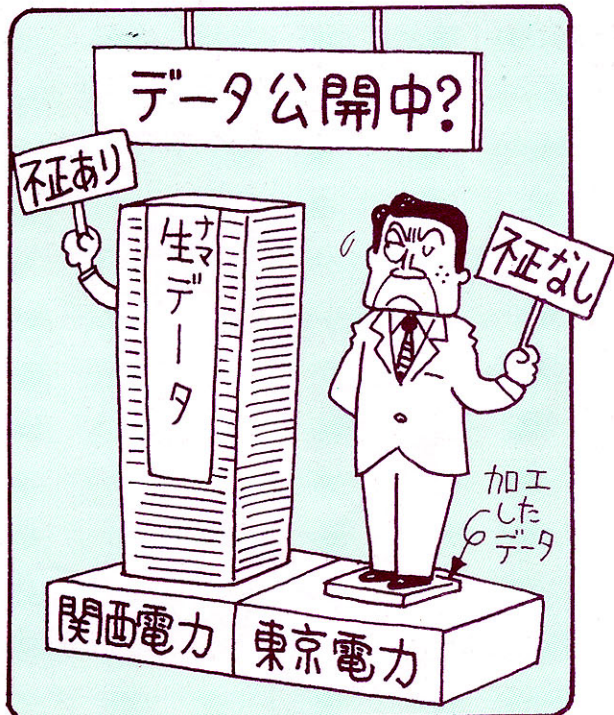


※くわしくは、東京電力本社  
お客様相談室へどうぞ  
無料電話 0120-12-8500

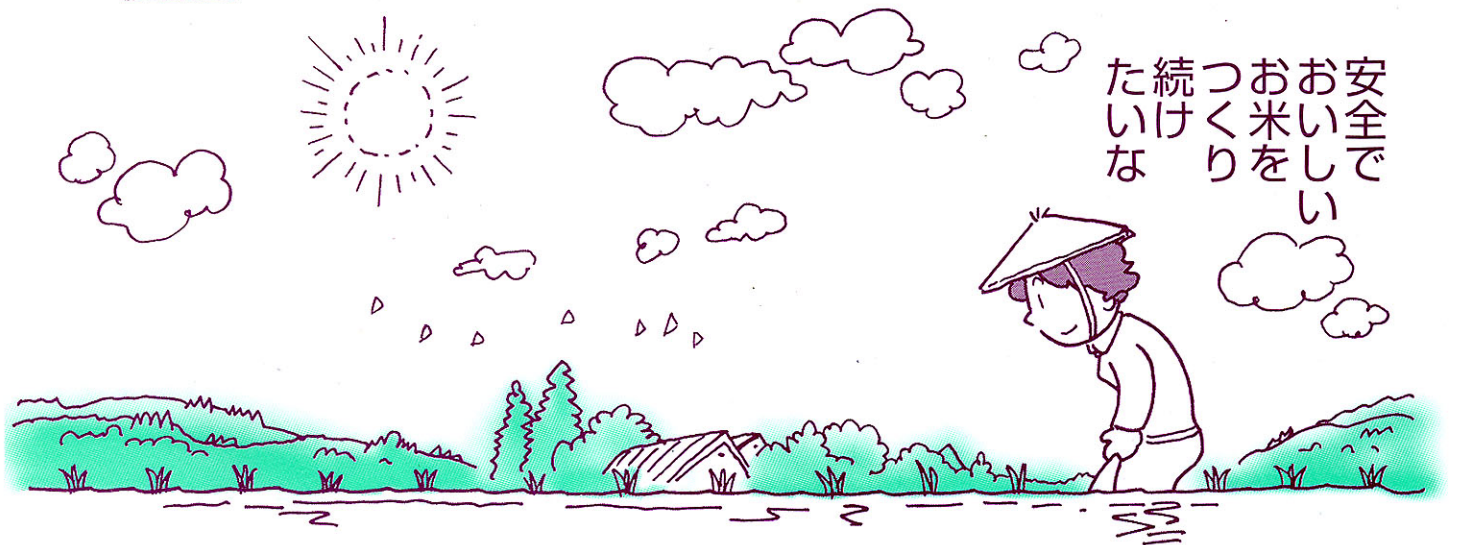
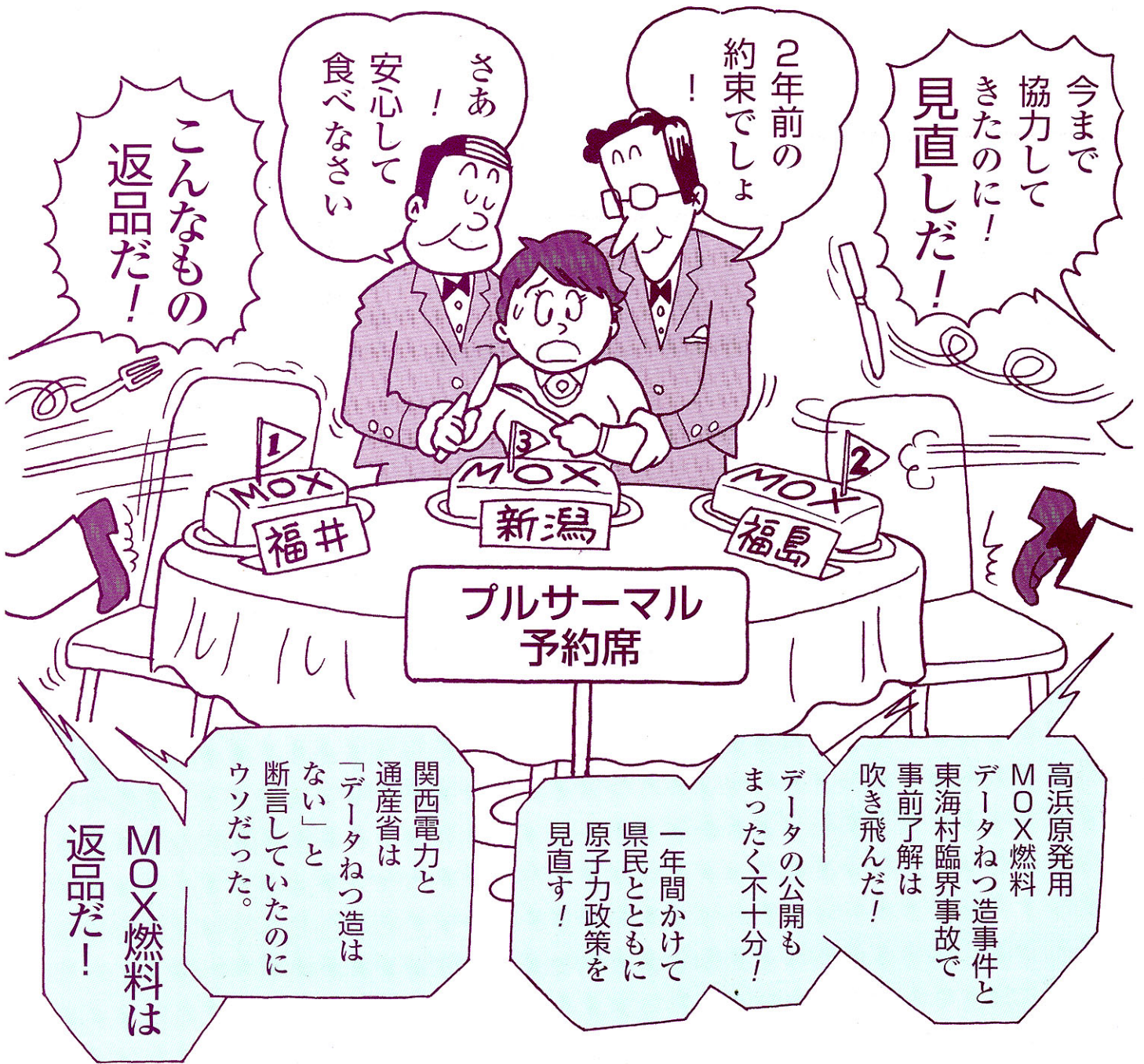
# 品質保証書が秘密?!



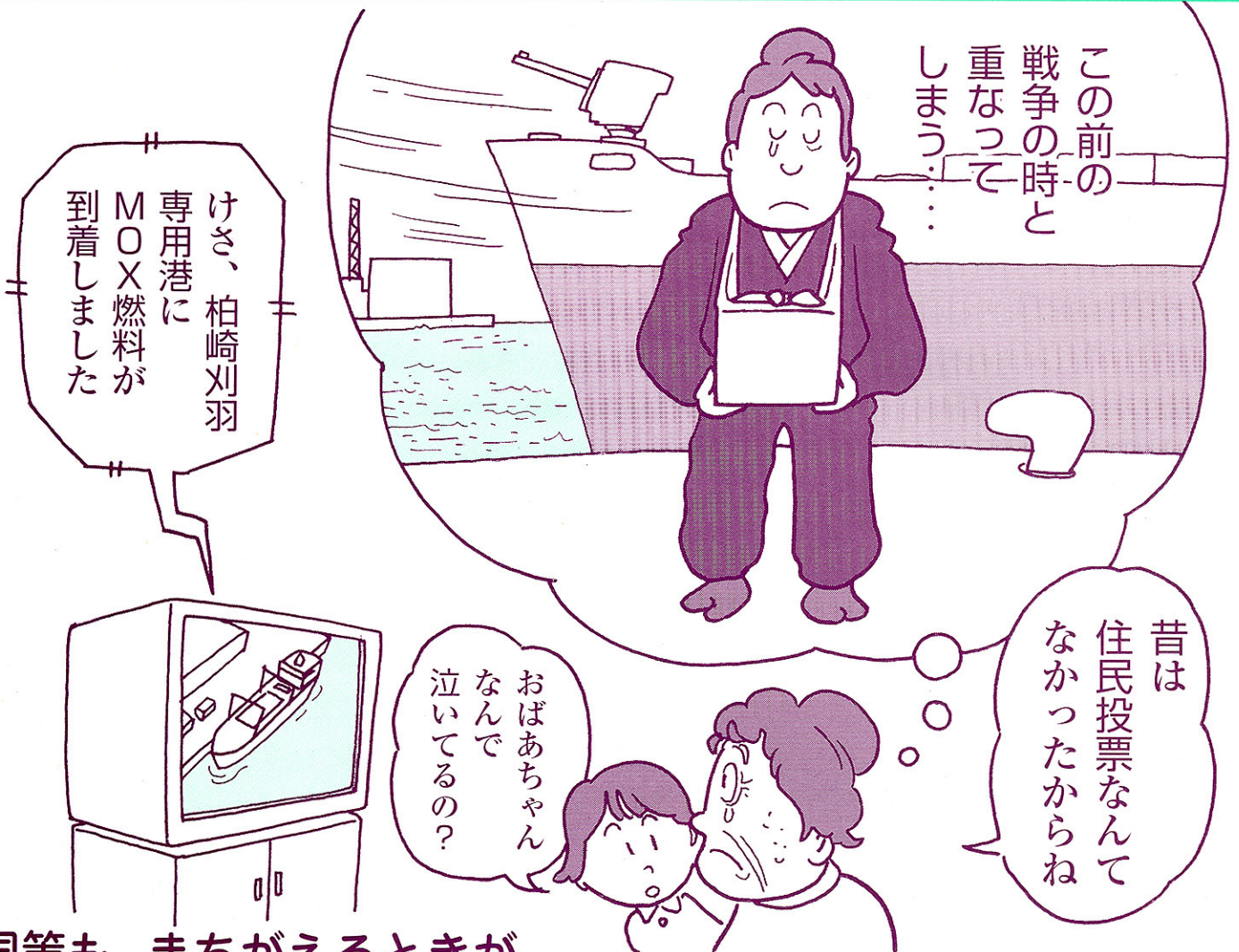
## 《柏崎刈羽で実験なんて！》



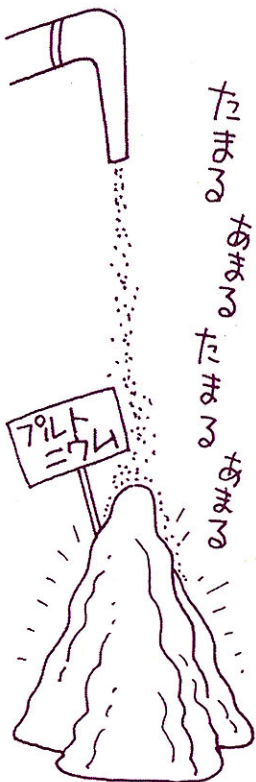
# こんなものは、食べられない!



# 国策と言うけれど……



国策も、まちがえるときがあるんだよね……



# 東海村臨界事故の 現地から

臨界事故がまだ続いていっているらしいと分かって、中央官庁があわてだしたのは、子どもたちが雨に濡れて帰ってきた後でした。誰かが、子どもたちに「雨には濡れるな」と教えてやらなければいけないのです。

誰かが、子どもたちにとって必要なことを行わなくてはいけない。その誰かとは、いったい誰か？  
あの日まで、私にとってその誰かとは、「しかるべき立場にある専門家」でした。でも、ずぶぬれの子どもたちを見た瞬間から、その誰かは、他の誰でもない、私になりました。

谷田部 裕子

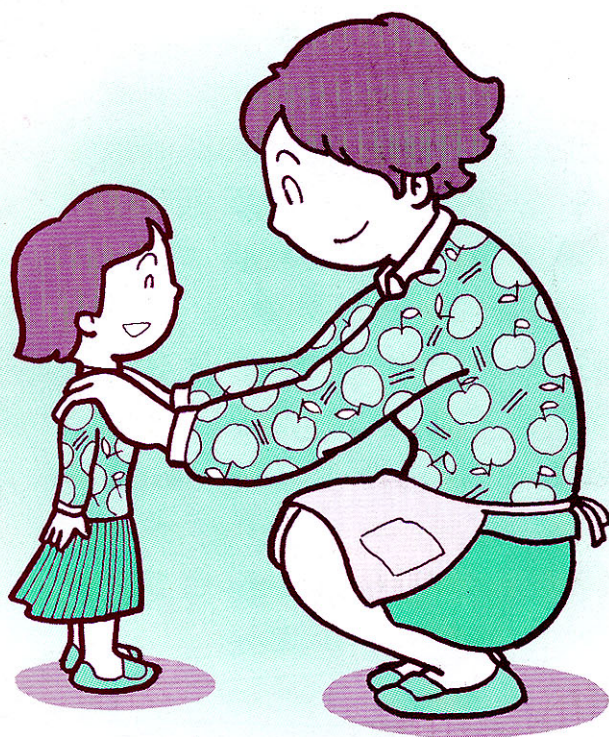
東海村JCOから  
約2キロに住んで  
います。

答えは

ひとつ！

決めた

からね



ありがとう

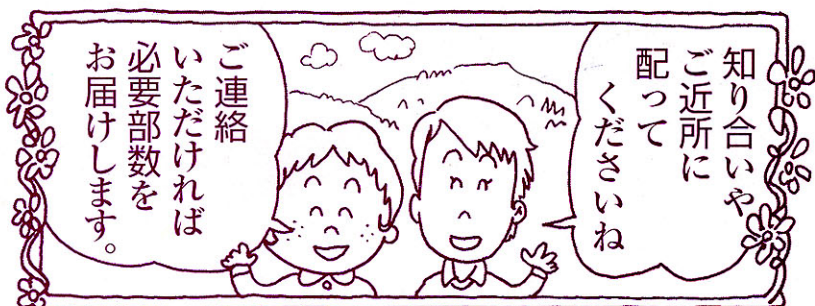
おかあさん

やっとできることになった、大切な  
住民投票です。  
行きましょう！

発行

ナージャの会

住所 刈羽村十日市2183  
電話・FAX 0257-45-3257  
(近藤ゆき子方)



# 「自公保バラマキ政治に歴史的勝利 プルサーマルNO! 刈羽村住民は「世界標準」だ



「刈羽村、原発建設の中止に世界一  
手落ちした。これに市民の勇躍が数字  
化された。市民の勝利だ……」  
勝利の瞬間、「刈羽村を愛する会」代表の  
佐藤正徳氏(71)は、万歳三唱を唱え、同派  
たちを見ながらうしろ向き、ハンカチで  
面を拭いた。  
世界最大の発電量を誇る東京電力柏崎  
刈羽原発新潟県刈羽村でのプルサーマ  
ル計画導入の是非を問う住民投票が6月  
27日、刈羽村で行われた。結果は反対  
対が1000票、賛成1000票、無票  
投票。法的な拘束力はないが、反対が  
投票総数の過半数を占めた結果、「計画

は再検討を迫られることになった。全国  
初の、プルサーマルをめぐる住民投票で  
初、反対派の歴史的勝利だった。  
プルサーマル計画と併行していえる、  
原発の使用済みになった核燃料からプ  
ルトニウムを取り出してウランと混合し、  
MOX燃料なるものを作り出して原発で  
再利用するもの。国が強力に推進する、核  
燃料サイクル政策」の中核をなす計画で  
ある。

●プルトニウムは核兵器の材料にもな  
るくらいでウランよりも危険度がずっと  
大きい。●東京電力や柏崎市は試験をお  
こなした際、水質については口頭説明の  
みで資料を提示していない。●青森県  
の六ヶ所村では再処理工場の周囲10kmに  
人家は1戸もないが、刈羽村は約4万戸に  
住宅がひしめいている——というもので、  
そもそも、プルサーマル計画は本当に  
必要なのか。計画にはプルトニウムを燃  
やす高濃増殖炉が不可欠だが、日本での  
唯一の設備「もんじゅ」は05年の事故で  
停止したままである。すでに先進諸国で  
は、危険度もコストも高いプルトニウム

の燃料利用は断念する流れにある。  
しかし、刈羽村の住民たちは最初から  
反対していたわけではない。  
「刈羽村は年間の総予算が5億円で、だが  
原発地区としての交付金が昨年70億円  
あり、廃棄物や放射線汚染の恐怖にか  
られつつも、村民はお上の声のままだに動  
いてきたのです。」(反対派の吉田大介村議  
かてで故・田中角栄元首相のお膝元だ  
った村は)「自公案のバラマキにたいし  
りと潰かっていたのだ。さらに推進派は  
田中真紀子外相の肉離れ入り前の口を  
全言に投げ込み、住民の心性に訴えた。  
品田宏夫村長(65)も、昨年の村長選で、多  
少の放射線は、酒と同じで体にいいん  
だ、みなさん、ウランの過剰に体を鍛え  
よう」と公言した。反対派の勝利は、ま  
さかにお上への反旗だったのである。  
「村民の意識が成熟した証でしょう。東  
海村(茨城県)の臨界事故や、高浜原発  
井原のリーク事故などを見た人々が、  
自分たちの利益よりも次世代の子供たち  
の安全を考へはじめた。自分たちの一票  
で日本が変わることを望んでいた。」(村中  
吉田村議)  
住民投票の立法化を宣言するシャナ  
リストの今井一氏は言う。  
「住民投票は衆議政治だ」という決りけ  
は、もう古い。刈羽村の人々は原発につ  
いて、本当によく勉強していました。投



▲勝利にタイをにかけて歓喜する反対派住民たち。刈羽村は3.7世帯に1人が東京電力ほか原発関係者という「原発城下町」。推進派を支援する平沼勉経済産業相、

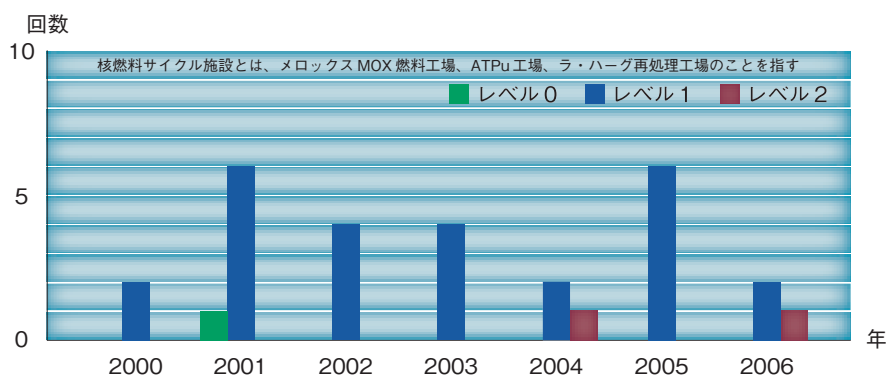


票の結果には欧米なみに法的拘束力を持  
たせるべきです。日本の常識は世界の非  
常識の時代が終わった。いっしょに市民  
を幼稚園児扱いするのはやめよう。」「  
知事選「無党派の乱」、小泉政権誕生に  
続く刈羽村の快挙で、日本は変わるか。  
▲参議院議員 平沼勉(57)「国会議員です」と  
▲平沼経済産業相(57)「これからは先?」  
▲南無業・東海村長は「住民の考えが大事」

PHOTO 結束武郎 堀田 番(下3点)

# アレバNC社は他にも問題を起こしています

アレバNC社の核燃料サイクル施設で発生した INES 事象件数 [2000-2006]



出典：『フランス原子力安全規制機関（ASN）』、定期報告書、2000-2006年

## 日本における過去の INES 評価事例

——レベル1（逸脱）

もんじゅナトリウム火災事故 '95

美浜3号機蒸気噴出事故 '04

——レベル2（異常事象）

美浜2号機蒸気発生器細管破断事故 '91

——レベル3（重大な異常事象）

東海再処理施設火災爆発事故 '97

INES（国際原子力事象評価尺度）は、原子力発電所や原子力関連施設の事故や事象について、その度合いをレベル1からレベル7までに分類する国際的な評価の基準。

アレバNC社の  
事件はこの「レベル2」!



「企業の品質管理や安全文化に問題あり」と仏安全当局に指摘されたアレバNC社から、MOX燃料の品質を信頼して輸入することなどできるでしょうか？

---

---

# Fuel Cycle Program Drains Money For Renewable Energy

---

- ▶ A quarter of the Japanese government's R&D for energy goes to the nuclear fuel cycle program.

